開館30周年記念感謝状贈呈者一覧

	名称	贈呈理由
個人の部	嶋田千里	平成25年度から「英語でおはなし会」を毎月開催。イースターやハロウィンなど季節にあった特別なプログラムを実施。また、サビエル高校の留学生をお世話されていて、図書館でトークイベントや民俗衣装によるファッションショーを開催するなど、図書館活動に彩りを与え、貢献度は非常に高い。
	村中李衣	平成15年、全国に先駆けてマタニティ・ブックスタートを提案・実施。本市の特徴的な施策となる。また、毎月図書館で開催されている「児童文学わいわい講座」は、旧館時代から続いており、400回近くになる。その他にも、「絵本で子育て出前講座」など、図書館における貢献度は非常に高い。
団体の部	名称	贈呈理由
	小野田ライオンズクラブ	昭和40年、地域社会への奉仕活動を目的として発足。その活動の一環として平成2年以降、毎年本図書館に10万円相当の図書を寄贈いただいております、その功績は大きい。特に、当クラブの創立の記念の年には額が増加する。代表は松山哲雄氏。会員数33名、終身会員2名。
	山陽小野田語り部の会	平成21年に「山陽小野田を紙芝居で発信する会」として発足、23年に改名。山陽小野田市の歴史・自然・文化といった地域情報の発信を目的に、本市にちなんだ紙芝居の作成・上演等を実施。図書館では月に1度、大人も子どもも楽しめる「山口どこでも紙芝居」を開催。制作された紙芝居は図書館に寄贈していただいております、市民に広く活用されている。郷土資料としても価値が高い。代表は杉本保喜氏。会員数19名。

	名称	贈呈理由
団体の部	山陽小野田 デイジーの会	平成23年発足。ディスクレシア（読み書き困難）の子どもたちや加齢により小さな字を読むことが困難な方々等に、読書を楽しんでいただく目的でマルチメディアデイジー図書を製作。月2回、本図書館で例会を開催。図書館に寄贈いただいた図書は100を超え、その活動は県内でも注目されている。代表者は塩田賢二氏。会員数18名。
	点訳グループ スズランの会	昭和57年発足。「広報さんようおのだ」や図書を点字に訳す作業を実施。本図書館所有の点字プリンターで印刷を行い、必要とされる方々へ届けている。月2回程度、例会等を本図書館にて開催。活動歴は30年以上となり、その功績は大きい。また、図書館フェスティバルでは点字体験コーナーを担当。代表は清水登貴子氏。会員数19名。
	図書館 創発会議	図書館の新たな価値を創造することを目的として、平成28年に発足。図書館に関するさまざまなアイデアを創出する以外に、読書会「持ち寄り本カフェ」の毎月開催、地域情報誌『とっとこ山陽小野田』の発刊など、他県に類を見ないユニークな活動を展開、図書館活動に活力を与えている。会員数15名。
	図書館 もみの木広場	昭和62年発足。毎月2回、本図書館にて幼児や小学生を対象におはなしの会「もみの木広場」を開催。また、人形劇まつりを毎年開催、今年で30回目となり、子どもたちを楽しませるなど、その貢献度は高い。代表者は福重和代氏。会員数8名。
	音訳ボランティア あじさいの会	昭和60年発足。視覚障がいのある方に広報紙・図書等をCDに録音し、それを送る活動を実施。月2回程度、例会を本図書館にて開催。また、毎年開催している「共生のまちづくり講座」では講師の選定や参加者の動員など尽力いただいている。さらに、図書館フェスティバルには団体として「ミニ朗読の部屋」などを開催、障がい者支援に尽力されている。代表は藤井礼子氏。会員数7名。